

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

「花いっぱい・本いっぱい・歌いっぱい」
～自分を、友達を、地域を愛せる鷹丘っ子の育成～

1. Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では開校当時から校区住民の協力を得て教育活動を展開してきた。そこで、さらに地域を見つめ、地域を知り、地域に学び、持続可能な社会作りの担い手を育む教育を推進するために 2012 年度より研究テーマを「自分を、友達を、地域を愛せる子」と新たに設定した。開校以来の合言葉である「花いっぱい・本いっぱい・歌いっぱい」の精神を充実させ、「花」自然とかかわり、「本」知性を重んじ、「歌」豊かな感性を育てることを中心に学校の教育活動を見直した。

2013 年度は、現在の教育活動を ESD の視点で見直し、カリキュラムの再編成を行った。ここでは、生活科や総合的な学習の時間（チャレンジタイム）での学習を中心に横断的に理科や社会科、音楽、国語など教科との関わりも考慮しながら、ESD カレンダーを作成した。ESD カレンダーでは、全教育活動で、地域に生きながら地域を愛し、「花いっぱい・本いっぱい・歌いっぱい」の活動に子どもたちが主体的にかかわるよう計画した。

この ESD カレンダーを基にした実践を継続することで、将来にわたって、地域への誇りと愛着を育んでいくことができると考えている。

2. Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESD の概念を下記のようにとらえた。

A 私たちを取り巻く環境について

- ① いろいろある（多様性）…人、もの、ことのも多様性を尊重し合う。
- ② 関わり合う（相互性）…人、もの、ことの間で人はつながる。
- ③ 限りがある（有限性）…有限な人、もの、ことを次世代へつなぐ。

B 人の意志や行動について

- ① 一人一人が主役（公平性）…社会は世代を超えて公平である。
- ② 力を合わせる（連携性）…立場や利害を超えて他者と連携、協力する。
- ③ 責任をもつ（責任性）…持続可能な社会の実現を自分のこととしてとらえ自分でできることから取り組む。

本校では、全校での「花いっぱい・本いっぱい・歌いっぱい」活動を通して、子どもたちが行う活動が地域全体に広がることを願っている。そのために本校では、以下の3つの活動で次のような目標を掲げる。

(1) 花いっぱい活動

- ・学校の四季を彩る「大花壇」を子どもたちがデザインし、育てる。
- ・各クラスで思い思いの花をプランターに育てる。
- ・農園で栽培活動をして、生活科や総合的な学習の時間の学習に生かす。

栽培委員会と園芸部が中心となって校内を「花いっぱい」にする運動を行うことで、花いっぱい、自然いっぱいの校区に愛着がもてるようにする。また、PTAや校区の方と連携して、「空き缶回収」、「ペットボトルキャップ回収」、「牛乳パック回収」、「インクカートリッジ回収」を行い、校区のリサイクル運動の拠点となることで、地域全体の環境美化や資源の有限化への意識を高める。

(2) 本いっぱい活動

- ・教育活動の中で「物語に接する」「調べる」「感じる」「楽しむ」など、子どもたちが常に書物に触れる機会を意図的に設ける。
- ・学級文庫を充実させ、身のまわりにいつでも書物がある環境を作る。
- ・PTAボランティアの読み聞かせを「朝読書タイム」に計画的に取り入れ、校区の方とともに本や紙芝居などに親しむ。
- ・校区について本で調べるとともに校区の方にくわしく聞き取り調査をする。

学習の中に本との関わりの時間を確保し、知的な気付きを培うとともに、豊かな感性を育む。

(3) 歌いっぱい活動

- ・一年間の学習の内容を総合し、楽曲を中心に発表する「鷹丘音楽会」を行う。
- ・毎月、全校で「歌声集会」を行い、生活の中に歌を取り込む。
- ・各学級で、学習や生活の約束事を盛り込んだ「タカオカソング」を歌うことで、協調性や学校の連帯感を生み出す。

子どもたちの生活の中に歌を取り組み、人とのつながりを意識させ、協調性や愛校心を育てる。

Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

本校では、ESDの目的を「地域を愛する子を育てる」とらえている。私たちは、自分を好きになり、友達を大切に、校区を大切に思う子の育成が、持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育となると考える。

各学年でESDカレンダーを作成し、行事や各教科などの学習と関連させて、「花いっぱい・本いっぱい・歌いっぱい活動」を推進している。

ESDカレンダーの例（4年生）

教科領域	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事		学級の花栽培					音楽会	春の花栽培			
総合			ツバメの研究		浄水場見学				校区探検	自分の成長	
社会	町調べ	ごみの行方	上下水道						昔調べ		
理科	春の生き物	天気		空気のはたらき		水のはたらき	星の動き		冬の生き物	自然の中の水	

(1) 「花いっぱい活動」のようす・・・自然とともに暮らす



(2) 「本いっぱい活動」のようす・・・本とともに暮らす



(3) 「歌いっぱい活動」のようす・・・歌とともに暮らす



Type of materials to be used (使用する教材)

「小学校 キャリア教育の手引き」	文部科学省	2010
「夢を見つけ夢をかなえる航海ノート」	愛知県教育委員会	2012
「豊橋市教育振興基本計画」	豊橋市教育委員会	2011

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

指導教師は、ふだんの生活の中でも児童の理解と姿勢を観察し、プロジェクトの後には振り返りカードへの記述によって評価する。

さらに、以下のような評価方法をとる。

- ・子どもたちのさまざまな活動への成果を、事後のまとめや反省から把握する。
- ・学習や活動のまとめとしての授業公開や行事「鷹丘音楽会」での発表、地域への発信を通して、意欲、関心、態度などを観察し、評価する。

上記の評価とともに、学校評議員を通じた地域からの評価や、全保護者からの学校アンケート調査などから、E S D活動の見直しを図り、地域とともに生きる、地域を愛せる鷹丘っ子を育成するための活動内容を改善していく。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

5 Nov.2013

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職) Principal

Institution's name (学校名)

Takaoka Elementary School